



平成 30 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア イ リ ッ ジ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 田 健 太 郎  
(コード番号：3917 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 CFO 兼 英 一 樹  
管理グループ長  
( TEL. 03-6441-2325 )

### ナーブ株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 12 月 26 日に、ナーブ株式会社との間で業務提携を行うことに合意しましたので、お知らせいたします。

なお、本業務提携は、今後の当社の企業価値向上に資すると考えており、今後、開示すべき事象が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上

平成 30 年 12 月 26 日

報道関係者各位



株式会社アイリッジ

ナーブ株式会社

株式会社 DG コミュニケーションズ

## アイリッジ、ビジネス VR 最大手のナーブと業務提携し、 ビジネス VR×020 ソリューションの提供を開始

～第一弾として、DG コミュニケーションズとともに、不動産 VR ソリューションを提供～

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、以下「アイリッジ」）は、ビジネス VR<sup>※1</sup> 最大手のナーブ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：多田 英起、以下「ナーブ」）と、「ビジネス VR×020<sup>※2</sup> ソリューション」分野において業務提携いたしました。今回の業務提携を通じて、アイリッジとナーブは、両社のもつビジネス VR・020 各領域トップクラスの実績とノウハウを活用し、「ビジネス VR×020 ソリューション」の共同開発と展開を推進します。

本ソリューションは展開の第一弾として、不動産広告大手の株式会社 DG コミュニケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木 浩一、以下「DG コミュニケーションズ」）に対し不動産領域における「ビジネス VR×020 ソリューション」の提供を開始するとともに、今後はさまざまな領域への展開を目指してまいります。

### 1. 本業務提携の背景と目的

アイリッジは、企業向けに 020 アプリの企画・開発・運用をトータルに提供しています。企業のスマホ・マーケティングへのニーズは業界を問わず拡大の傾向にあります。昨今はそれに加え、スマートスピーカーや VR/AR<sup>※3</sup> 等、新しい技術を活用したチャンネルへもニーズが拡大してきています。VR/AR についてはこれまで主にエンターテインメント向けの用途で用いられてきましたが、今後は医療・旅行・小売・製造など様々な業界に応用されていき、国内市場規模は、2016 年時点の 141 億円から、2020 年には 10 倍以上の 2,111 億円になると予想されています<sup>※4</sup>。特に VR については、不動産、旅行、自動車など現地に足を運ぶ必要のある商材を遠隔で体験できる性質から、020 マーケティングにおいても今後重要なチャンネルとなっていくと考えています。

一方ナーブは、不動産、建設、旅行、航空、船舶、自動車といった様々な業界にビジネス向け VR システムを提供していますが、特に不動産業界に対しては、『VR 内見<sup>TM</sup>』『どこでもストア<sup>®</sup>』などの次世代 VR ソリューションで業界をリードしており、三菱地所、東急不動産ホールディングスグループとも資本業務提携を行うなど、事業成長を加速化しています。

このような背景から、アイリッジが提供する 020 技術と、ナーブが提供するビジネス VR 技術を連携させた「ビジネス VR×020 ソリューション」の提供を開始することで、各社の強みを活かしたマーケット拡大・事業成長につながると判断し、本業務提携に至りました。

アイリッジは本業務提携により、ビジネス VR への早期対応を実現することで、020 アプリのみではニーズを満たしきれなかった新規顧客層の開拓と新たな事業機会の創造を目指し、ナーブはアイリッジの 020 ソリューション『popinfo』を活用して集客と利用ユーザーの行動解析、効果測定を実現し、競争力の強化を図ります。

また、ナーブの調査によると、不動産業界は特に VR との親和性が高く、『VR 内見<sup>TM</sup>』の導入により不

動産業務の大幅な工数削減につながった実績があるほか入居前入居後のギャップ解消や満足度向上も認められています。そのため、本業務提携による第一弾の「ビジネス VR×O2O ソリューション」展開先としては、不動産広告業界において多くのクライアントをもち、アイリッジとの共同ソリューションを含め不動産向けデジタルサービスを多数展開する DG コミュニケーションズに決定しました。

DG コミュニケーションズは「ビジネス VR×O2O ソリューション」を通じ、自社のクライアントに対して、集客から VR 内覧、VR 内覧後の実際のモデルルームへの来館計測まで行える O2O×VR モデルルームを提供することができます。

- ※1) ビジネス VR：不動産、建設、旅行、航空、船舶、自動車といった様々な業界のビジネス領域で活用する VR システム
- ※2) O2O（オンライン to オフライン）：消費者にインターネット（オンライン）上のウェブサイトやアプリを通じて情報を提供し、実店舗（オフライン）への集客や販売促進に繋げること
- ※3) AR：実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示することで、目の前にある世界を仮想的に拡張する技術
- ※4) 出典：JETRO「マーケットレポート VR/AR（産業用ソリューション）2017年10月」

## 2. 提携の概要

両社は本提携により、以下の取り組みを行うことで、「ビジネス VR×O2O ソリューション」を提供してまいります。

### (1) アイリッジの O2O 技術とナーブの VR 技術を連携させた「ビジネス VR×O2O ソリューション」の共同開発

両社が得意とする分野の技術およびノウハウを共有・活用することで、業界をリードする「ビジネス VR×O2O ソリューション」を提供していきます。

- 『どこでもストア®』 × 『popinfo』 の連携

- ナーブが提供する『どこでもストア®』は、商業施設内で VR と遠隔通話を活用した無人店舗を展開できるサービスです。遠隔地にある不動産物件などを VR で閲覧できるほか、さらに端末を通じて専門スタッフからサービスの詳しい説明を聞くことができます。また、不動産以外にも、旅行など様々なコンテンツにも対応可能となっています。



<どこでもストア®イメージ>

- アイリッジの O2O ソリューション『popinfo』と連携することで、当該商業施設への集客や、どこでもストア®設置場所への誘客を実施するとともに、どこでもストア®を利用したユーザーの行動解析等を行い、効果測定を実施します。

- 『どこでもストア®』機能を搭載した O2O アプリの開発

- 『どこでもストア®』は、現在は実機を設置した場所で、利用者が VR で閲覧できるサービスですが、今後この情報を消費者が場所を問わず閲覧できるように、O2O アプリとして開発・提供することも予定しています。

### (2) アライアンスによる、「ビジネス VR×O2O ソリューション」の普及・拡大

両社は、不動産業界、小売・流通業界、鉄道業界等、親和性の高い顧客をもっているため、相互顧客紹介を行うことで、「ビジネス VR×O2O ソリューション」の普及・拡大を進め、シナジーを高めてまいります。

## ■株式会社アイリッジについて

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow：テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンを活用した、企業の O2O 支援を行っています。O2O 支援はスマートフォンを利用したもので、O2O ソリューション「popinfo (ポップインフォ)」の提供、O2O アプリの企画・開発、集客・販促等を中心とした企画・運用支援 (O2O マーケティング) をサービスとして提供しており、O2O やスマートフォン向け位置連動型サービスの分野では業界トップクラスの実績があります。

<https://iridge.jp/>

## ■ナーブ株式会社について

ナーブ株式会社 (NURVE) は、「完全情報を提供し、未来のあたりまえを創り世界を変革し続ける」をビジョンとして、VR 技術を活用した今までにないプラットフォームを提供。実用的でビジネスに活用しやすい VR システムは、不動産、建設、旅行、航空、船舶、自動車といった様々な業界で、多くの大手企業に活用されています。

- ・不動産、建設：『VR 内見<sup>TM</sup>』『どこでもストア<sup>®</sup>』などの VR ソリューションを提供
- ・旅行、航空、鉄道：『VR トラベルソリューション』を提供
- ・船舶、自動車：『VR ソリューション』を提供

ナーブは、VR 業界におけるマーケットリーダーとして、企業の迅速な意思決定と変化対応能力の向上を支援するとともに、企業の顧客満足度向上にも役立つシステムを提供します。

<http://www.nurve.jp/>

(1) 名 称	株式会社ナーブ
(2) 所 在 地	東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 多田 英起
(4) 事 業 内 容	VR (バーチャルリアル) コンテンツのプラットフォームの提供
(5) 資本金(資本準備金含む)	991 百万円
(6) 設 立 年 月 日	2015 年 10 月 15 日

## ■株式会社 DG コミュニケーションズについて

DG コミュニケーションズは、創業 50 年を超える歴史をもち、主に不動産のブランディング、販売プロモーションを担う広告代理店として事業展開しています。また、親会社である株式会社デジタルガレージ (東証一部 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁) の最先端技術を活用し、機械学習技術を採用したマンション所有者向け住宅資産管理サービス「家いくら？」や、IoT やデジタルサイネージサービスの提供など、不動産業界向けのデジタルサービスの提供を推進しています。

<https://www.dg-c.co.jp/>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

■株式会社アイリッジ 広報担当 TEL：03-6441-2325 E-mail：[pr@iridge.jp](mailto:pr@iridge.jp)

■ナーブ株式会社 広報部 担当：佐藤 TEL：03-6635-6199 E-mail：[press@nurve.jp](mailto:press@nurve.jp)

■株式会社 DG コミュニケーションズ 広報担当 TEL：03-6252-5055 E-mail：[info@dg-c.co.jp](mailto:info@dg-c.co.jp)